

【概要】

2015年度 民間住宅ローン利用者の実態調査 【民間住宅ローン利用予定者編】(第3回)

I 調査の概要

今後5年以内に、住宅を取得する計画があり、かつ、民間住宅ローンを利用する予定の方を対象にして、住宅取得に向けた意識や行動、利用予定の住宅ローンの金利タイプなどについて、インターネットによるアンケート調査を2016年2月に実施し、その結果を取りまとめたものです。
(回答数:1,153件)

II 調査結果の主なポイント

※<>は、本調査結果の詳細資料中の該当ページ

1 「固定期間選択型」及び「変動型」の希望割合が増加し、「全期間固定型」の希望割合が減少<p. 2>

- ・「固定期間選択型」は38.1%(前回調査:35.5%)、「変動型」も28.8%(前回調査:27.6%)と増加
- ・一方、「全期間固定型」は33.1%(前回調査:36.9%)と減少

2 今後1年間の住宅ローンの金利見通しは、全体では「現状よりも低下する」、「見当がつかない」が増加<p. 3>

- ・今後1年間の住宅ローン金利見通し(全体)は、「現状よりも低下する」が22.9%(前回調査:8.2%)と増加し、「現状よりも上昇する」は21.2%(前回調査:32.5%)、「ほとんど変わらない」は、34.6%(前回調査:41.7%)と減少
- ・「見当がつかない」の割合は、21.2%(前回調査:17.6%)と増加

3 住宅の買い時意識が上昇<p. 6>

- ・今(今後1年程度)は住宅取得のチャンス(買い時)だと思う方の割合は、42.5%と前回調査(38.0%)より増加
- ・住宅取得のチャンス(買い時)だと思う理由は、「住宅ローン金利が低水準だから」が79.4%(前回調査:81.0%)、「消費税率引上げ前だから」が36.9%(前回調査:40.0%)と大半を占める